

社会福祉法人 八つ鹿会（八つ鹿工房）

障がいのある人と地域をつなぐ

「社会福祉法人 八つ鹿会」では、障がいのある人などの就労や生産活動の機会を提供するため、さまざまな事業を行っています。

その中の1つの陶芸事業は、法人立ち上げ当時から続いています。そこで製作された立牛鬼などの陶器は市推奨品にも認定され、広く親しまれています。また、陶芸で使う設備を活用して地域の人も参加できる陶芸教室を開催。教室で使う粘土や教室の準備などを就労支援事業として行い、授業料を工賃に反映させています。一般開放することで障がいのある人と地域の人とが関わる機会を

設け、障がい福祉への理解を深めることも目的の1つです。昨年、商店街にオープンした「アトリエ やつしかふえ」も同じ目的で開設されました。

ほかにも、ヒオウギ貝を使ってインテリア作りを楽しむシーボーンアート教室を開催。汚れた貝の掃除を就労支援事業として行うだけではなく、廃棄される貝を使うことで環境保全も目的としています。

理事長の毛利さんは「障がいのある人の就労支援だけではなく、地域貢献や環境保全などにもつながる事業を展開したい」と話してくれました。



▲シーボーンアート教室で講師を務める皆さん



▲陶芸教室



▲市推奨品：立牛鬼・闘牛